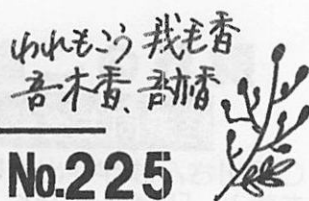


◇本会の活動や「会報」などに、ご意見やご投稿をお願いします。



九条はらまち

福島県南相馬市「はらまち九条の会」 No.225

2013(平成25)年10月 8日(火)発行



○宮沢賢治は、1896(明治29)年8月27日生まれ、1933(昭和8)年9月21日急性肺炎で死去。37歳の短い生涯でしたが、花巻農学校教員・科学者として多岐にわたる研究や実践、詩人や童話作家、作詞作曲家としての評価は、年ごとに高まるばかりです。○賢治の作詞作曲の『星めぐりの歌』が、高倉健主演の映画『あなたへ』でも天空の城・竹田城跡(兵庫県)で田中裕子が歌い、朝ドラ『あまちゃん』でもBGMの一つとして静かに流れていました。

「世界がぜんたい幸福にならないうちは個人の幸福はあり得ない。」(宮沢賢治)

「憲法97条 読むたび感動覚える」という新聞投書(8月19日『朝日』)がありました

憲法97条 この憲法が日本国民に保障する基本的人権は、人類の多年にわたる自由獲得の努力の成果であって、これらの権利は、過去幾多の試練に堪へ、現在及び将来の国民に対し、侵すことのできない永久の権利として信託されたものである。

○基本的人権は、米国の独立革命、フランス革命などの人類の永いたたかひの結果として獲得され、この日本国憲法に凝縮されています。しかし、「自民党の改憲草案」ではこの97条は丸ごと削除されていて、基本的人権は、「公益及び公の秩序」により制約され、個人より国家が大きく優先されています。

○憲法全103条の中で、皆さんのお好きな条文はどれでしょう? 前文・9条・13条・25条…?

<震災や原発事故を詠む②> 3.11東日本大震災・原発事故・私の体験 32

「地球儀に地震も津波のなくて初夏」(石川文子さん/南相馬市原町区)

○<震災や原発事故を詠んだ俳句>を、6月発行の216号では①として八牧美喜子先生主宰の『はららご』から紹介しました。今号ではその②として、石川文子先生主宰の『冬薔薇』の作品を紹介させていただきます。○いずれも、思いの深い作品ばかりです。

地球儀に地震も津波のなくて初夏	石川文子
馴れるとは諦めること夜の蟻	
落葉舞ふ耐ねばならぬ事多く	
木枯らしや更地となりし津波跡	
膝毛布重ね避難の春の闇	
堤防の崩れしままや虎落(もがり)笛	
言ひ切れぬ言の葉残し年逝けり	
復興ののろし野馬追一番旗	
避難せし子等の分まで豆を撒く	
忍耐の日々はいつまで百日紅	
過去にせぬ過去よ三月十一日	
線量を減らすすべなく夏果つる	
春深む父決断の離農かな	
ふたたびの地震に戸惑ふ去年今年	
津波あと残る古墳に春立ちぬ	
新大麻掛ける床(とこ)なき避難部屋	
一時帰宅我が家のぬくね栗の秋	
春先の仮設校舎や新入生	
避難して一年半や秋の風	
セシウムの栗拾はれず蹴られおり	
地震やみて炬燵を囲む安堵かな	
夢いつも「浪江」にありて明け易し	
ふるさとへ帰心募らす虫しぐれ	
冬薔薇便りなき友案じをり	

志賀厚子	佐藤衣子	佐藤和子	佐伯律子	牛来承子	木幡幸子	伊藤雅昭	小川信親	大甕知永子	加藤照子	加藤芳江	杉津禰子	高倉紀子	根本淑子	村越裕子	吉田茂子	渡部とし江	渡部要子	渡辺良子
------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------	------	------	------	------	------	-------	------	------

石川文子先生主宰『冬薔薇』より

(第一九回俳人協会俳句大賞)

○これらの作品掲載については、会員二上英朗さんにお骨折りをいただきました。ありがとうございます。

財界のご意見番・憲法9条堅持に奔走

経済同友会終身幹事 品川正治さん(89) 8月29日死去



○品川さんは学徒出陣し中国の激戦地で戦う。復員船の中で新聞に載った憲法草案を読み、「国家」でなく「人間」の視線で書かれていることに感動し涙した。○日本興亜損害保険社長でしたが、経済人の枠を超え、憲法9条を守る大切さを訴え続けた。

◆「戦争を起こすのも人間なら、それを許さないで止めようと努力できるのも人間だということ。ここに一番の基本がある。この言葉が戦後一貫した私の座標軸となっているわけです。」(品川正治)

《会員からの手紙・電話》

□「首都直下大地震、南海トラフなど、大地震の予想は正確にできないものか。東日本大震災でも地震学者は何をしていたのか。地震が起きてから、報告や解説だけではもう遅い。東京に子ども家族も親戚も住んでいて心配です。五輪開催の前、開催中にでも万が一起きたらどうなるか、大変です。」(小高区・50代・男性)

安倍首相の五輪発言に驚いた

□「その後、お元気のことと思います。」

世の中、五輪祝賀で盛り上がっているようですが、あの安倍首相の『福島は全く問題なし、完全にコントロールされている』という発言には驚きました。どの面下げてあんなことが言えるのか。そして日本のマスコミはそれに対して特別な反応を示さない驚くべきドン感さ。

避難生活で亡くなられた方が200名近くいらっしゃるそうですね。まだ当分続くのでしょうか。」(神奈川県・70代・男性)

『はだしのゲン』を読んでいたおかげで

□「私の知人の娘さんは、あの大震災の翌日の3月12日、原発が爆発した時すぐ反応し、12日の夜、旦那さんは夜勤だったので、自分で1歳のお孫さんを車に乗せ、原町を脱出。真っ暗な飯館村の山道を福島方面に逃げたそうです。」



(作・中沢啓治)

後で聞いたのですが、娘さんは小学生のころ、今話題の漫画『はだしのゲン』を読んでいて、放射能の恐ろしさを知っていたのですぐ避難したのではないかと、そして被曝しないで済んだ、とお母さんは話していました。

私も読みましたが、『はだしのゲン』は自伝で史実に基づいた漫画です。松江市教育委員会の命令で図書館で閲覧禁止にするなんて短絡的であきれています。皮肉にもその後、全国でより広く読まれるようになったそうです。」(原町区・60代・女性)

◇憲法学者樋口陽一氏講演会◇ ・主催：福島県九条の会 ・12月7日(土) 13時～

・福島市上浜町福島県教育会館 ・整理権500円(事務局井上にあります。お申し出ください)

○「なくせ！原発 安心して住み続けられる福島を！ 11.2福島大集会」

・11月2日(土) 11時～テント企画 13時～集会 ・福島市荒川運動公園



《事務局より》

◆猛暑、豪雨、竜巻、巨大台風と大変な夏でした。さらに地震や津波など、「日本は世界一災害の多い国」ということを再認識させられます。さらに、政治が私たちの期待とは全く反対の方向へと急旋回しています。ニュースに嫌気がさす毎日ですが、皆様はどうお考えですか。

◆大震災や原発事故からもう2年7ヶ月で、お互い様ですが手紙も電話のやりとりもすっかり少なくなりました。なにか置き去りにされたように寂しく感じている方も多いのではないのでしょうか。そんな時は、本会事務局に電話やお手紙やハガキをお寄せください。事務局も寂しいのです！？



「憲法の学習や話し合いが必要です！」

◆9月28日(土)、郡山市ビックアイで「県九条の会・全県活動者会議」が開催され、県内各地の「九条の会」代表が集まり、活発な情報交換を行いました。私たちは「はらまち九条の会」の震災後の活動内容も報告してきました。

真新しいことでは、今年5月11日発足した「福島県市町村九条の会」から、元三春町町長伊藤寛さんが活動報告を行いました。

また県九条の会会長吉原泰助さんが講演で、「安倍政権による憲法改悪の動きと、それに対抗するため学習や話し合いの必要性」を強く訴えておられました。(事務局 早坂吉彦)

《「はらまち九条の会」事務局連絡先》

○会長：平田慶肇 TEL0244-24-1211 ○石田賢二 TEL0244-22-4037 ○早坂吉彦 TEL0244-22-0326

○事務局長：山崎健一(神奈川県に避難中) TEL090-7527-5453 Eメール：yamazakiken1@gmail.com

○会計：井上由美 〒975-0031南相馬市原町区錦町1-43井上薬局内 TEL0244-22-7511・FAX26-0892

○番場恵子 TEL0244-22-0715 ○ホームページ担当：大浦祥見 TEL0244-24-0704